

2026年3月17日

鹿児島大学病院 で

胃癌の治療を受けた患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

胃切除術後の腹腔ドレナージ法の比較検討

【研究の目的】

本研究では、胃切除術後の腹腔内ドレナージ方法を過去の手術症例をもとに比較し、患者さんの術後合併症の発生を抑える最適なドレナージ方法を検討します。

【研究の方法】

診療録から入手できる臨床情報、血液検査結果、画像検査結果をもとに治療成績の解析を行います。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2029年3月31日

【対象となる患者さん】

2010年以降に胃癌と診断され、手術を受けた患者さんを対象としています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

臨床情報、血液検査結果、画像検査結果

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者、研究担当者は次に示すとおりです。

研究責任者：

鹿児島大学病院消化器外科・講師 有上 貴明

研究担当者：

鹿児島大学病院消化器外科・助教 松下 大輔

鹿児島大学病院消化器外科・助教 下之菌 将貴

鹿児島大学病院消化器外科・医員 富田 実代

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 井戸 章雄

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないよう加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。

企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

(住所) 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

(研究機関名) 鹿児島大学病院

(研究担当者の所属・氏名) 消化器外科 下之菌将貴

(電話) 099-275-5361